

# 「差し押さえ預金口座の誤り」に学ぶ、今後の対策について

## 「KYTで意識改革

誤認差し押さえの反省で

「小長井義正市長は、今年4月に富士市が誤って滞納者とは別人の預金口座を差し押さえた事案の再発防止のため、事務処理上のリスクを抽出する

「(仮称)事務処理KYT(危険予知訓練)を職員の意識改革のために行う方針を示した。

22日の市議会6月定例会で、望月徹氏(リスペクトふじ)の一般質問に答弁した。

小長井市長は同事案の原因について▽担当者による本人特定の確認作業が不十分▽決済時に本来添付すべき根拠資料の添付が無かった―など、業務上の基本的なルールが徹底されていなかったとの認識を示した。

再発防止のため、基本的なルールの順守や上司による多重チェックの徹底、全ての業務手順の見直しなどを指示。その上で「従来の業務手法に対し、常に改善点を探りながら取り組むという職員の意識改革が必要」とし、具体的な取り組みとし

て、事務処理KYT、職員の業務改善の手法を記載したカイチャレ(改善・チャレンジ)ハンドブックへのヒヤリハット事例の追加などを行う。

事務処理KYTは、各所属の少人数による話し合いを通し、通常業務に潜むリスクを明らかにし、ミス回避するための想像力を養う。実際に起こった事象を

参考にしたが、年3回ほど実施する予定だという。カイチャレハンドブックへのヒヤリハット事例の追加は、軽微なミスやミスに至らなかった事例を検証。重大なミスを防ぐための職員の意識改革を促す。

その上で小長井市長は、朝礼時での職員行動指針の唱和などを踏まえ、「新たな取り組みや日々の意識付けにより、職員の意識改革や職場風土の変革を図り、再発防止と信頼回復に努める」と述べた。

望月氏は「前任者がやってきたことに遠慮しないという風土の醸成が重要。市長には強力なリーダーシップを発揮してほしい」と求めた。

(6月24日富士三ニュースより)

## 補正予算について

今定例会に上程され、総務市民委員会に付託された

案件で、当初予算約四億一千百万円に対し20%強の約四千六百万円の不足が生じた「吉原まちづくりセンターリニューアル工事」について

予算超過の原因(当局見解)

- ・従来の事例を参考に概算により予算を積算していたこと
- ・大規模な改修工事は今回が初めてであったこと
- ・職員の経験不足もあつたことであると考え

発言(望月徹分)

「幾つかの部署が係り、大規模で新規な事業への取り組みに対し、出だしが基本的に間違っている。プロジェクトを組む、組織として事業の重大さを共有しなければいけない。当初の判断ミスが招いたことを認識していただきたい。

この悪例を前例としないこと。」

今後は「福祉総務委員会」に所属します。副委員長(新人議員の多くは他委員会で就任)として、委員長を補佐していきます。

## ため池(原方区)の安心・安全対策を

当局はため池の水の利用状況について、調査を実施いたします。(R4.7.~R4.11. 調査会社:株フジヤマ富士営業所) 調査結果を踏まえて、R5年度地元説明会を予定しています。現状の問題点を含め、よく話し合っていく必要があります。



## 令和4年6月定例会 一般質問通告順

順位	氏名	内容
1	遠藤 盛正	1. 富士市のスポーツツーリズムを進めるための観光交流拠点機能の整備について
2	一条 義浩	1. 新型コロナウイルスの長期的な副反応への対応について
3	望月 徹	1. 市民のニーズに対応する「なんでも総合相談センター」の創設を。 2. 差し押え預金口座の誤りに学ぶ、今後の対策について
4	佐野 智昭	1. 田子の浦港のにぎわいづくりを官民協働で計画的・戦略的に推進し加速させていくために
5	下田 良秀	1. 富士市での安全・安心に利用できるスケートボード練習場の設置やスケートボードに関する今後の施策について 2. 富士市での子供たちの基礎体力向上に対する施策について
6	小野由美子	1. 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴う富士市の今後の取組方針について
7	吉川 隆之	1. 外郭団体に対する市の関与と責任について
8	笠井 浩	1. 富士市デジタル変革宣言によるふじタウンマップの活用について 2. 富士市内を走るランナーのための給水設備について
9	小山 忠之	1. 富士市まちづくり活動推進計画における(仮称)まちづくり一括交付金の「調査研究」の前倒しについて
10	高橋 正典	1. 富士市内の分譲地内の公園及び雨水調整池の管理について
11	荻田 丈仁	1. 積極的な高等教育機関への留置、誘致の取組について
12	長谷川祐司	1. 富士市職員の防災避難訓練及び市民が来庁しているときの避難誘導訓練の実施状況について
13	井上 保	1. 旧富士川町域における歴史文化の活用について
14	藤田 哲哉	1. 社会福祉センターから生まれたコミュニティの今後について 2. 富士市のスポーツを支える人材育成とアスリートのセカンドキャリア支援について 3. 富士市立中央病院の機能充実について
15	小池 義治	1. ふじかぐやの湯における入れ墨等の規制問題を事例に考える、行政による法的根拠なき利用制限の是非 2. 2020年2月以降の各種統計情報にコロナ禍の影響はいかに表れているか 3. 常時マスク着用の弊害について認識し、過剰なコロナ感染対策を是正して普通の日常を取り戻すために
16	小沢 映子	1. 性暴力を根絶して、被害者も加害者も出さない社会の実現に向けて 2. 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(困難女性支援法)を実効性のあるものにするためには
17	井出 晴美	1. 女性デジタル人材育成プランの推進・活用について 2. 糖尿病重症化予防の取組について
18	萩野 基行	1. 带状疱疹ワクチンの接種について
19	笹川 朝子	1. 学校給食費の無償化について
20	山下いづみ	1. 難民の受入れと今後について 2. 多様性を育む取組について
21	小池 智明	1. 公共施設の長寿命化等を進める上での建築系技術職員の確保・育成等について 2. 「静岡県盛土等の規制に関する条例」施行に伴う富士市の対応について
22	鈴木 幸司	1. 带状疱疹の予防接種に公的助成を求める 2. 業務委託等における富士市の現在の状況について
23	鳥居 育世	1. 富士市のデジタル化について 2. 静岡県ヤングケアラー実態調査を受けての富士市の対応について